

会 議 録

会議の名称	第2回 飯塚市地域情報化計画推進委員会
開催日時	令和7年12月10日(水) 18:00~20:00
開催場所	飯塚市役所 1階多目的ホール
出席委員	川原委員長、二摩副委員長、勝瀬委員、下原委員、長野委員、馬場委員、田村委員、平川委員
欠席委員	春口委員
事務局職員	【情報管理課】福田課長、小田係長、太田
会議概要	議事1 後期推進プランシート令和7年度中間報告について 議事2 類似プランの統合について 議事3 次期計画に対する事務局の考え方について 議事4 その他(スケジュールについて)
会議資料	資料 1-1 後期(2年目)の目標と達成状況 資料 1-2 地域情報化計画後期推進プランシート 資料 2-1 市民サービスの高度化に向けたICT利活用施策プラン 資料 2-2 フロントヤード改革の推進プラン 資料 2-3 AI利活用促進事業プラン 資料 2-4 キャッシュレス決済による各種事業プラン 資料 2-5 ペーパーレスおよび電子決裁推進事業プラン 資料 2-6 情報セキュリティ・リテラシーの向上プラン 資料 3-1 次期計画に対する事務局の考え方について(追加報告) 資料 3-2 整備状況_各推進プランの後継計画計上状況 資料 3-3 飯塚市ペーパーレス化方針 資料 3-4 報告書(案)
公開・非公開の別	公開(傍聴者 2名)

<p>会議内容</p>	<p>議事 1 後期推進プランシート令和 7 年度中間報告について (資料 1-1, 1-2)</p> <p>【基本目標ごとにプランを抜粋して説明】</p> <p><各委員から出された主な質問・意見></p> <p>No.3「自治会活動デジタル化推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツールの導入が 0 件である理由は、より詳細な分析と具体的な推進策が必要ではないか <p>⇒ (事務局) 自治会長へは確認しているが導入が進んでいない。回覧などの部分的なシステム導入について検討 (事務局から担当課へ依頼予定)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標に「回覧板のデジタル化」など、目標自体をより具体的に設定したほうが、事業が進展しやすいのではないか。 <p>⇒ (事務局) 成果指標に「回覧板のデジタル化ツールの導入」など、具体的な目標の修正を事務局より担当課へ依頼予定。</p> <p>No.5「情報発信の在り方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP リニューアルの「デジタル市役所」について、ゴミ出し機能をトップページ記載するのは適切かとの指摘 <p>⇒ (事務局) ゴミ出し機能が「デジタル市役所」に適切かどうかについては、いただいた意見をもとに再度内部で協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP リニューアルにおける検索機能向上に伴い、AI チャットボットを廃止する方向とのことだが、現状正答率が向上している中で廃止は適切なのかとの指摘。 <p>⇒ (事務局) AI チャットボットは職員が作成した QA に基づき回答しているが、定型的な質問が多く、タイムリーな更新が難しいため、廃止を検討。リニューアル後の HP には FAQ の表示やレコメンド機能を搭載することで対応を補完。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生成 AI を利用した質問応答について、RAG 技術を利用すれば誤答は防げるのではないかとの指摘 <p>⇒ (事務局) RAG 技術は誤答を減らすことができるが、細かい定義がないと断片的な回答になる可能性がある。行政として、誤</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

答率を0%にすることが求められるため、わずかな誤答リスクが残る場合、導入は難しい。

- ・「デジタル市役所」に関して、今後 AI エージェント技術の進化により、ユーザーの支持でタスクを進める仕組みが普及していく中で、AI エージェントの導入について調査を進めるべきではとの指摘。

⇒（事務局）AI エージェントの導入について調査・検討を進める。

No.56 「小中学校 ICT 教育推進事業」

- ・小中学校はタブレットを100%導入しているという認識だが、なぜ、93.1%と100%でないのか。

⇒（事務局）端末については、100%整備済み。93.1%については、ICTをほぼ毎日活用した授業の割合。

- ・来年度以降、タブレットのサポートや更新はどうなるのか。

⇒（事務局）担当課へ確認のうえ、次回委員会にて報告予定。

議事 2 類似プランの統合について

（資料 2-1 ～ 2-6）

【事務局より説明】

- ・現在推進プランが多く進捗管理が難しい
- ・類似しているプランの統合案を作成
- ・今後の進捗管理は統合案で進めていくことを検討

<各委員からの主な質問・意見>

- ・統合自体は賛成。ただし、異なる基本目標に計上されているプランの統合については、どの基本目標に入れるか慎重な精査が必要との指摘。

⇒（事務局）改めてプランの精査を行い、委員からの意見を募集。次回委員会にて報告予定。

- ・担当プランが複数にまたがる場合、担当課の責任や意識があいまいになり、進捗管理が弱まるではないかとの指摘。

⇒（事務局）成果指標に各担当課ごとの指標を記載。主担当課・関係課という整理で責任を明確化する予定。

議事 3 次期計画に対する事務局の考え方について
（資料 3-1～3-4）

【事務局より説明】

- ・本計画を包括する計画があること
- ・計画終期に向け、本計画プランは包括計画や専門計画へ統合していくことを検討
- ・各推進プランの後継計画への計上状況を報告
- ・報告書は各基本方針ごとに整理し、成果に対する提言を委員から募集予定

<各委員から出された主な質問・意見>

- ・次期計画に対する考え方として賛成。
- ・報告書案について、委員が確認する時間を確保するため、早めに提出いただき内容の精査を行いたい。

⇒（事務局）成果部分については、次回委員会までに報告書作成し、委員からの提言についても募集予定。

報告書の提出時期は計画終了後、令和8年度の決算を確認後に、令和9年度に予定。

議事 4 その他（スケジュールについて）

【今後の本委員会の開催予定】

第1回：来年度6月頃を予定

- ・類似プランの統合プラン案を作成
- ・報告書案の作成

後期（2年目）の目標と達成状況

令和7年12月10日

総務部 情報管理課

後期（2年目）の目標と達成状況

基本目標

進捗状況

評価

飯塚市地域情報化計画の各基本目標

- 1-1 ICTで人をつなげ、共に支えあう協働のまちづくり
- 1-2 いつでも、どこでも、誰でも簡単に受けられる行政サービス
- 1-3 効果的・効率的なICTの導入と運用
- 1-4 ICTマネジメントの推進
- 2-1 ICTでつながり、支えあう子育て支援の推進
- 2-2 ICTで実現する！すべての人が安心して暮らせる保健・医療・福祉の連携と充実
- 3-1 市の魅力を発信！ICTを活用し、地域経済の活性化を支援
- 4-1 ICTを効果的に活用した、特色ある学校教育の推進
- 4-2 ICTを活用した生涯学習、スポーツ、歴史、文化の振興並びに国際交流・多文化共生の推進
- 5-1 安全・安心で快適なまちづくりの支援

基本目標 1 - 1 ICTで人をつなげ、共に支えあう協働のまちづくり

誰もがICTを利用することで、人や地域、行政がつながり、一人ひとりの個性や能力が発揮され、共に支えあう市民協働のまちを目指します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-1-1 公衆無線LANの活用促進 公衆無線LANの活用促進	Wi-Fi整備拠点数	22拠点	23拠点	市内23施設でのWi-Fi環境整備済み
1-1-2 ICTを活用した市民ニーズの把握 ICTを活用した市民ニーズの把握	電子申請活用 アンケート数	20件	38件	電子申請を活用した市民アンケート実施
1-1-3 地域活動におけるデジタル化の推進 自治会活動デジタル化推進事業	デジタルツールの 導入支援	3件	0件	ツールの導入について調査・検討



後期2年目の評価

概ね良好

公衆無線LANや電子申請の整備は完了し、利活用促進中。自治会活動デジタル化はツール導入に向け、引き続き調査・検討中。

計画全体としての評価

概ね良好

自治会活動のデジタル化ツール検討が難航しているものの、目標全体としては着実に進展している。
公衆無線LANや電子申請のハード面の整備は完了し、誰もがICTを利用できる環境は整備できた。

基本目標 1 – 2 いつでも、どこでも、誰でも簡単に受けられる行政サービス（1/3）

情報通信基盤の整備を促進し、市内外への情報発信力を強化するとともに、ICTを適切に利活用し、いつでも、どこでも、誰でも簡単に、個に応じた行政サービスが受けられる市役所を目指します。

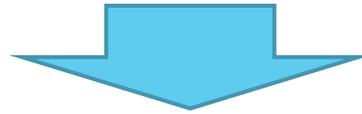
プラン名	主な指標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-2-1 SNS等を活用した適時適切な情報発信 情報発信力強化事業	市公式SNSの フォロワー数	30,000	24,826	デジタルメディアによる迅速な市政情報の提供 を引き続き推進中
1-2-1 SNS等を活用した適時適切な情報発信 情報発信の在り方について	ホームページ閲覧 件数	6,000,000 件	2,312,111 件	デジタル市役所の実現に向け、HPリニューアル が進行中
1-2-2 スマート窓口の推進 タブレットを用いた手話・外国語通訳事業	通訳タブレット利用 回数	75 件	15 件	タブレット端末導入済み
1-2-2 スマート窓口の推進 スマート窓口システム導入事業	電子申請実施数	29 件	29 件	各種手続きによる電子申請環境整備済み
1-2-2 スマート窓口の推進 引越しワンストップサービス	ワンストップ転出 申請件数	540 件	279 件	手続きによる電子申請環境整備済み
1-2-2 スマート窓口の推進 フロントヤード改革の推進	オンライン対応手続 件数	40 件	36 件	各種手続きによる電子申請環境整備済み
1-2-3 電子申請による行政手続きのオンライン化 電子申請推進事業	電子申請を活用した 受付業務件数	40 件	67 件	各種手続きによる電子申請環境整備済み
1-2-3 電子申請による行政手続きのオンライン化 電子入札システムの整備	電子入札システム 登録者数	1,020 件	1,156 件	電子入札システムの環境整備済み

基本目標 1 – 2 いつでも、どこでも、誰でも簡単に受けられる行政サービス (2/3)

プラン名	主な指標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-2-3 電子申請による行政手続きのオンライン化 飯塚市公式LINEを使った各種事業の予約・通報受付	LINE予約・通報業務数	148 件	172 件	LINEによる各種手続きの電子申請環境整備済み
1-2-4 マイナンバーカードの活用促進 住民票等コンビニ交付事務	コンビニでの各種証明書の交付率	30%	30 %	機器整備済み
1-2-5 AIを活用した行政サービスの推進 AIチャットボットの活用促進	正答到達率	85.0%	76.3 %	HPリニューアルに伴う検索機能向上により、廃止の方向で検討
1-2-5 AIを活用した行政サービスの推進 AIの学習データの整備	FAQの新規で登録した件数	120 件	53 件	HPリニューアルに伴う検索機能向上により、廃止の方向で検討
1-2-5 AIを活用した行政サービスの推進 生成AIの活用	生成AI導入累計件数	1 件	1 件	生成AIツールをR7実証事業中
1-2-6 キャッシュレス化の推進 各種証明事務	キャッシュレス決済利用率	18%	19 %	機器整備済み
1-2-6 キャッシュレス化の推進 キャッシュレス決済による証明書手数料の支払い	キャッシュレス決済利用率	40%	18 %	機器整備済み
1-2-6 キャッシュレス化の推進 キャッシュレス決済導入事業	キャッシュレス決済導入施設数	19 施設	5 施設	R7年度に14施設整備予定

基本目標 1 – 2 いつでも、どこでも、誰でも簡単に受けられる行政サービス (3/3)

プラン名	主な指標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-2-6 キャッシュレス化の推進 コミュニティ交通の運賃キャッシュレス化	システム導入調査・検討進捗率	100%	20%	導入状況調査を実施



後期2年目の評価

良好

一部プランでは、事業中止等（図書館のマイナンバーカード利用やAIチャットボット）となっているが、概ね目標を達成する見込み。

計画全体としての評価

良好

機器やシステム等のハード面の整備は概ね完了し、情報通信基盤の整備や行政サービスを受けるためのツールの提供環境は整えることができた。

コミュニティ交通キャッシュレス化についても、導入の方向で検討中である。

基本目標 1 – 3 効果的・効率的なICTの導入と運用

ICT機器や情報システムの調達・運用コストを抑制するとともに、導入効果の分析や継続的な業務改善を行うことで、効果的・効率的な行政運営を目指します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-3-1 ペーパーレス化の推進 各種研修・会議のペーパーレス化	ペーパーレス会議割合	75%	56%	本庁各会議室において庁内ネットワーク用Wi-Fi整備済。ノートパソコンの無線対応完了。
1-3-1 ペーパーレス化の推進 電子決裁の推進	電子決裁比率	40.0%	42.9 %	システム整備および規定を整備済み。研修についても実施中。
1-3-2 統合型・公開型GISの活用促進 統合型・公開型GIS導入事業	システム導入	1件	0件 (導入中)	令和8年3月より稼働予定
1-3-3 標準準拠システム及びガバメントクラウド 標準準拠システム及びガバメントクラウドへの移行	法定事業のガバメントクラウドへの移行割合	100%	0% (移行中)	令和8年度に移行予定
1-3-4 Web会議による柔軟な働き方の推進 モバイル端末機器庁外利用事業	モバイル端末貸出申請数	120回	80回	モバイル端末導入済み（R2年度に3台拡充）
1-3-4 Web会議による柔軟な働き方の推進 Web会議システム管理事業	オンライン会議実施 ／端末数×勤務日数	49.3 %	25.9 %	Web会議端末導入済み（R3年度に3台拡充）
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 会議録作成支援システムの活用促進	システム利用時間	600時間	384時間	システム（ツール）については導入済み
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 ノーコードアプリケーション作成ツールの活用促進	利用ライセンス数	36件	36件	ツールは導入済みだが、効果検証中

基本目標 1 – 3 効果的・効率的なICTの導入と運用

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 庁内チャットツールの導入	システム導入	1件	1件	令和8年1月より導入予定（グループウェア）
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 予約乗合タクシーのスマートフォン等予約システム導入	システム導入調査・検討進捗率	100%	50%	システム事業者と仕様書の協議継続中
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 RPA活用型業務効率化事業	作業時間軽減率	89%	71%	システムは整備済み
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 介護保険認定審査システムに係る認定調査モバイルDX化事業	認定調査モバイル化連絡調整会議	3回	2回	システム導入の可否、費用対効果等について、調査・検討中
1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化 地域資源データベースの導入	導入検討会議開催件数		2件	システム構築に向け検討中

後期2年目の評価

概ね良好

一部システムについて導入中や検討中ではあるが、概ね令和8年度中には完了予定。
 （乗合タクシー予約システムや介護認定審査システムの導入については、最終年度においても調査・検討中の見込み）

計画全体としての評価

概ね良好

統合型・公開型GISやモバイル端末、Web会議システム等本目標に掲げる「ICT機器」は導入できた。
 乗合タクシー予約システムや介護認定審査システムの導入については、調査・検討段階であるものの、目標全体としては順調に進行している。

基本目標 1-4 ICTマネジメントの推進

情報システムの導入や運用を組織的に管理する仕組みを確立するとともに、情報セキュリティ対策や職員の情報リテラシー向上など、ICTマネジメントを推進します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
1-4-1 個人情報保護、情報セキュリティ対策の強化 個人情報保護、情報セキュリティ対策の強化	アンケート実施による理解度	80%	0%	職員の情報セキュリティ意識向上を推進するため研修を実施
1-4-2 職員の情報リテラシー向上の取組 デジタル人材育成研修	研修に対する理解度	90%	91%	全庁的なDX推進のため研修を実施
1-4-2 職員の情報リテラシー向上の取組 情報リテラシー研修	アンケート実施による理解度	80%	0%	職員の情報リテラシー意識向上を推進するため研修を実施



後期2年目の評価

良好

セキュリティ対策やデジタル人材育成、リテラシー向上のための研修を実施中。研修に対する理解度も向上している。

計画全体としての評価

良好

各種研修は着実に実施し、理解度の向上も認められる。
職員に対するICTマネジメントは良好に進捗している。

基本目標 2 - 1 ICTでつながり、支えあう子育て支援の推進

子育て関連の情報を積極的に発信し、共有することで、地域と子ども、その保護者がつながり、みんなで支えあう子育て支援を推進します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
2-1-1 子育て支援に関する情報発信 子育て支援情報の受信、発信と共有	SNS等の情報発信	12回	6回	情報提供の環境については整備済み
2-1-1 子育て支援に関する情報発信 母子保健情報DX化推進事業	情報収集	2回	2回	事業検討のための調査・検討事業
2-1-2 子育てワンストップサービスの推進 子育てワンストップサービスの導入	子育てワンストップサービス実施利用率	5%	4%	システムについては整備済み R7年度よりHPを活用し推進中
2-1-2 子育てワンストップサービスの推進 子ども医療費受給資格証のデジタル化	打ち合わせ回数	6回	8回	令和8年4月運用開始に向け実施中
2-1-3 子育て相談機能の充実 子育て相談機能の推進	オンラインを活用した子育て相談数	10人	1人	オンラインでの相談可能な環境は整備済み
2-1-4 デジタル技術を活用した子育て支援業務の効率化 公立保育所運営事業（保育園向け業務支援システム）	システムの活用メニュー数	7件	7件	業務効率化に向けたシステムは導入済み

後期2年目の評価

概ね良好

一部目標に到達できないプランもあるが概ね目標達成できる見込みである。

計画全体としての評価

概ね良好

一部目標達成できないプランもあるが、目標に対し順調に進捗している。子育てに関するICT環境については、概ね整備することができた。

基本目標 2-2 ICTで実現する！すべての人が安心して暮らせる保健・医療・福祉の連携と充実

ICTを生かして健幸都市づくりの情報発信に努めるとともに、保健・医療・福祉の連携と充実を図ることで、子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
2-2-1 ICTを活用した健康づくりの促進 各種健診に係るICT利活用事業	ICTを活用した 特定健診予約割合	21.0%	28.7%	システム環境は整備済み
2-2-1 ICTを活用した健康づくりの促進 ヘルスケアプロジェクト事業	健幸ポイント事業 の参加者	5,700人	5,606人	ICTを活用した事業ツールについては整備済み
2-2-3 ミライロIDの活用促進 ミライロIDの活用促進	手帳取得者への案 内文を配布	600件	601件	ミライロID（デジタル障がい者手帳）利用環境は 整備済み



後期2年目の評価

良好

ICTを活用した事業目標について、目標を達成できる見込みである。

計画全体としての評価

良好

各部門でのICTを活用した事業について、システム等を整備することができた。
また、進捗管理に係る目標についても、目標を達成できる見込みである。

基本目標3-1 市の魅力を発信！ICTを活用し、地域経済の活性化を支援

ICTを活用し、本市の魅力を市内外に発信するとともに、本市の持つ特性とICTの特性や能力を生かした産業の振興、雇用の促進、観光の振興及び国際交流の推進を図ります。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
3-1-1 オープンデータの活用促進 行政情報のオープンデータ化	オープンデータ公開数	41件	42件	オープンデータ公開環境は整備済み
3-1-2 産学官が連携した産業のICT化の推進 ICTを活用した鳥獣対策事業	ICT対応わな監視システム活用台数	50台	49台	ICTを活用したシステムは整備済み
3-1-2 産学官が連携した産業のICT化の推進 水田農業DX推進事業	補助事業に取り組む集落 営農組織等の数	3件	0件	スマート農業機械等の普及のための補助事業 (推進のための環境は整備済み)
3-1-3 ITスキルを持った人材による企業DX 先端情報技術開発支援事業	実証実験サポート事業 採択件数	1件	2件	先端情報技術開発を支援するための補助事業 (推進のための環境は整備済み)
3-1-5 ビッグデータ・パーソナルデータを活用 先端情報技術開発支援事業	開発支援補助金採択件 数	1件	1件	先端情報技術開発を支援するための補助事業 (推進のための環境は整備済み)

後期2年目の評価

概ね良好

設定した事業目標に対して、概ね目標を達成できる見通しである。

計画全体としての評価

良好

ICTを活用したシステムや推進環境について整備することができた。
また、進捗管理に係る目標についても、目標を達成できる見込みである。

基本目標 4 - 1 ICTを効果的に活用した、特色ある学校教育の推進

教科指導等において、ICTが持っている特性を効果的に活用し、子どもたちの学習意欲を高め、わかりやすく深まる授業を実現することで、確かな学力の向上を目指すとともに、校務事務の効率化を図ることにより、教育の質の向上や学校経営の改善・効率化を目指します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
4-1-1 教育用ICT機器等の活用推進 STEAM教育実証研究事業	実証研究校による実証研究発表実施回数	1回	21回	実証研究事業ではあるが、十分な研修実施が行われている
4-1-1 教育用ICT機器等の活用推進 小中学校ICT教育推進事業	1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合	96.8%	93.1%	小中学校へ電子黒板等のICT機器は導入済み
4-1-2 学校間ネットワークの最適化と活用の推進 小中学校間ネットワーク構築事業	ネットワーク再構築	100%	0%	小中学校間ネットワーク環境は構築済み（R7年度再構築中）
4-1-2 学校間ネットワークの最適化と活用の推進 ICTを活用した教員の働き方改革の推進 （統合型校務支援システム整備事業）	統合型校務支援システムの研修等の実施	2回	5回	校務支援システムについては導入済み



後期2年目の評価

良好

設定した事業目標に対して、概ね目標を達成できる見通しである。

計画全体としての評価

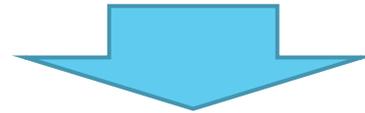
良好

学校教育分野において、ICT機器やネットワーク環境は概ね導入することができた。更なる推進のため、実証研究も十分に行われている。

基本目標 4 – 2 ICTを活用した生涯学習、スポーツ、歴史、文化の振興並びに国際交流・多文化共生の推進

ICTを活用し、生涯学習、スポーツ、文化の振興並びに国際交流・多文化共生の推進を図るとともに、歴史的・文化的遺産を保護し、教育・観光分野などへの活用を図ります。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
4-2-1 ICTによる歴史的・文化的遺産の活用 デジタルミュージアム整備事業	デジタルミュージアム アクセス件数	140,000件	82,279件	デジタルミュージアムについては整備済み
4-2-2 市民の情報リテラシー向上の取組 ICT関連の市民向け講座等の開催	ICT関連の教室・講座等 の受講者実人員数	950人	477人	ICT関連の市民向け講座は継続して実施できており、満足度も高い
4-2-3 ICTを活用した生涯学習事業の推進 ICTを活用した生涯学習事業	電子化した講座・イベ ント数	200件	139件	受付やアンケートにおけるICT活用ツールは導入済み



後期2年目の評価

良好

継続して推進している事業ではあるものの、目標を達成できる見込みである。

計画全体としての評価

良好

ICT関連のシステムやツールについて整備することができた。
進捗管理に係る目標についても、達成できる見込みである。

基本目標5-1 安全・安心で快適なまちづくりの支援

地域の防犯・防災及び子どもや高齢者、障がい者の見守り情報の提供など、ICTを活用することにより、安全・安心なまちづくりを推進します。また、生活基盤や都市基盤などの整備や環境の分野においても幅広くICTを活用していくことで、快適で暮らしやすいまちづくりを目指します。

プラン名	主な目標	目標値	R7中間	その他プランの評価
5-1-1 地域防災におけるICT/IoTの活用推進 クラウド型被災者支援システムの導入	システム導入するための予算化(可否)	○	×	システムの導入について調査・検討
5-1-2 安全安心・防災減災情報共有化の推進 防災等に関する情報発信	防災関連情報発信回数	20回	23回	ICTを活用した情報発信ツールは導入済み (HP、公式SNS、防災行政無線、dボタン、市報)



後期2年目の評価

良好ではない

防災関連の情報発信については、目標達成する見込みだが、ICTを活用した被災者支援システムの導入は不透明な状況である。

計画全体としての評価

概ね良好

ICTを活用した被災者支援システムの導入は不透明な状況ではあるものの、これまでの計画の中で、防災情報の共有や空き家バンクの創設、避難所等の位置情報の計上等一定の整備が行われてきた。情報発信についても目標を達成できる見込みである。